

親子で TRY・1 おこづかい帳をつけてみよう

使い方の目標でも、買った物でもOK!目標があるとむだづかいが減ります。

(例)

5月

目ひょう：4500円ためて、ゲームソフトを買う!

何に使ったのか忘れてら金額だけでも書きまます。まずは続けることが大切です。

日	だれにもらった・何につかった	入ったお金	出たお金	のこったお金
	前の月までに たまったお金	円	円	450円
1日	5月のおこづかい	1000円	円	1450円
3日	まんが	円	430円	1020円
~~~~~				
?日	(何につかったかわすれた)	円	80円	715円
20日	おじいちゃんから おだちん	200円	円	915円
24日	△さんのたん生会プレゼント	円	480円	435円
	らい月に のこすお金	円	円	435円

両親からの励ましや助言も大きな力になります。

ふりかえり (うまくつかえたこと/しっばいしたこと)

何につかったかわすれないように、  
こんどからすぐにノートにかく!

お父さんお母さんからひとこと:

けいかくしてつかえたから△さんにステイ  
ゲームソフトを目ざして ちょ金をがんばろうね。

使い方をふり返ることで、自らむだづかいに気づいたり、予算の中で買う物の優先順位を決めてやりくりする力がつきます。

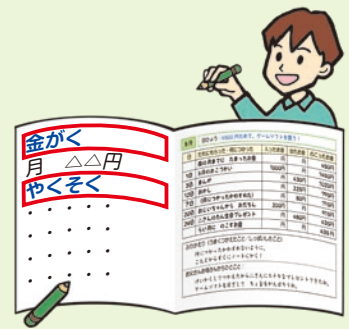
## 親子で TRY・2 わが家のルールを作ろう

おこづかいの使い道や管理は子どもにまかせるのが基本ですが、家庭の方針に従って親子で使い方を話し合い、最低限のルール(約束)を決めておくことをおすすめします。

### ルール例

- おこづかいで買うものの範囲(例:文房具、お菓子、雑誌、プレゼント等)
- おこづかい帳をつける
- 友達とお金の貸し借りをしない、おごらないしおごってもらわない
- 買う前にそれが本当に必要か(今買わないと困るか)よく考える
- 円以上のものは親に相談してから買う
- お金も、買ったものも大切に使う

など



### 豆知識 お金の役割ってなに?

**交換する**: ものやサービスの支払いのために利用している身近な役割。

**価値を測る**: ものやサービスの価値の違いを値段をつけることで判断できる。

**価値を蓄える**: ものとは長く保存することができないが、お金は長く保存することができ、将来のために蓄えておくことが可能。

